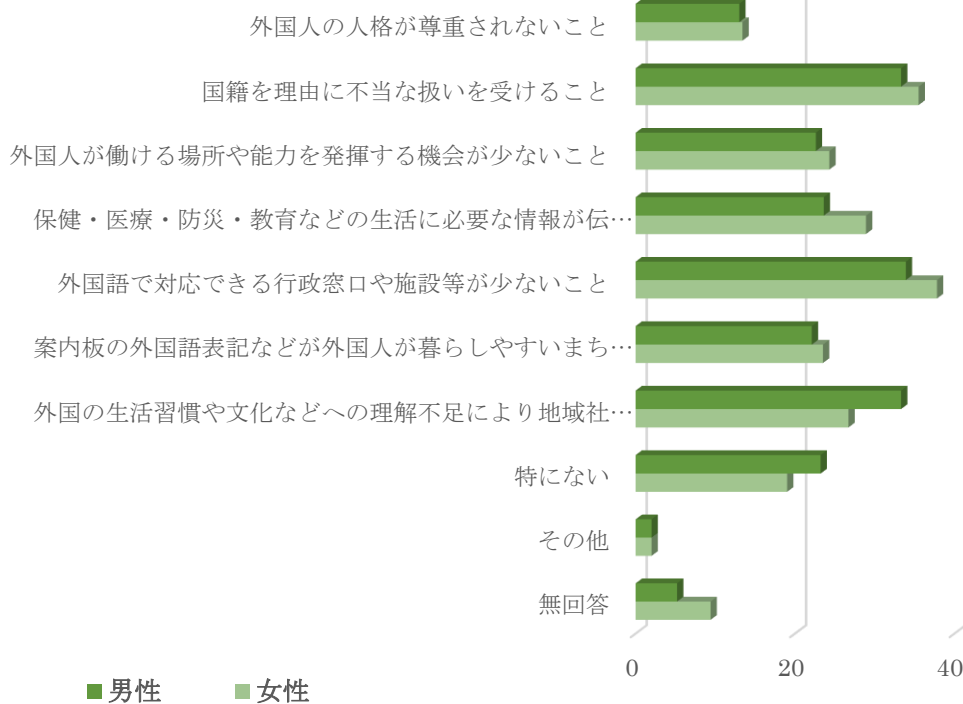


外国人の人権

外国人の人権で問題があると思うこと（複数回答）



お互いの文化や生活習慣を理解することが大切です。



多かったのは「外国語で対応できる行政窓口や施設等が少ないこと」と回答した人が36.1%、「国籍を理由に、不当な扱いを受けること」が34.8%、「外国人の生活習慣や文化などへの理解不足により地域社会の受け入れが十分でないこと」29.6%でした。

言語、宗教、習慣等の違いから、外国人をめぐってさまざまな人権問題が発生しています。外国人であるという理由だけで、家主や仲介業者の意向により、アパートやマンションに入居させないという差別的な取り扱いがなされたり、公衆浴場の入浴を拒否したり、あるいは、外国人についてあらぬうわさが広まったりといった問題も生じています。

国という枠をこえて認めあうことですね。



お互い助け合おうね。



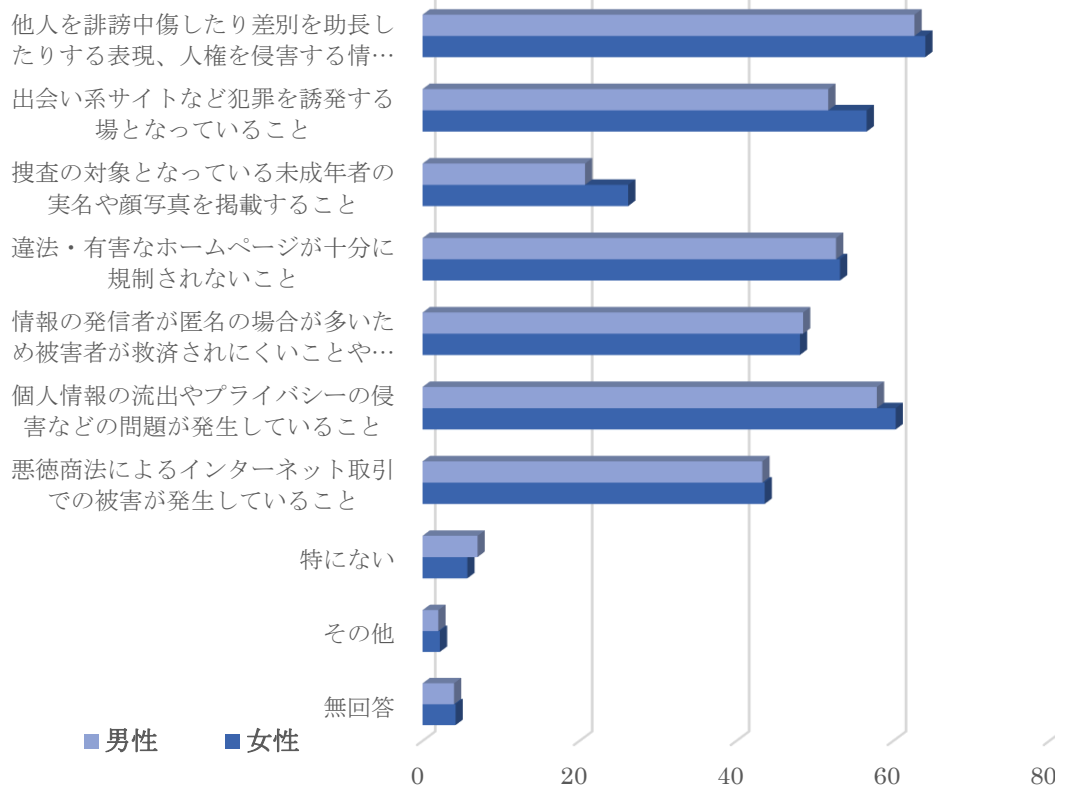
また最近では研修制度を悪用し、外国人の実習生に契約どおりの賃金を払わなかった事件や、韓国・朝鮮籍の人への嫌がらせや脅迫が発生しています。自分が外国で生活している時、外国人という理由で不合理な扱いを受けたら、どう感じるでしょうか。

外国人の人権問題の解決に向けて何よりも大切なことは「相互理解」という地道な努力です。言語、宗教、習慣等の違いを超え、外国人のもつ文化や多様性を受け入れ、尊重することが、これからの国際社会の一員として望まれることです。

インターネットと人権

インターネットでの人権侵害で問題があると思うこと（複数回答）

インターネットは、利用する人のモラルが重要ですね。



多かったのは「他人を誹謗中傷したり差別を助長したりする表現、人権を侵害する情報があること」を回答した人が63.8%、「個人情報の流出やプライバシーの侵害など問題が発生していること」が59.2%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が54.7%となっています。男女別では「捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」が女性に5.3%多くの回答がありました。

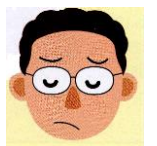
書き込みには責任を持ちたいですね。



インターネットは情報の収集や発信、コミュニケーションの手段などに利用され、私たちの生活を快適で便利なものにしていきます。しかし、一方でプライバシーの侵害や名誉を毀損する情報、差別を助長する情報などが掲載されるといった問題が起きています。

危険性の認識が大切です。

インターネットは「匿名」で簡単に記載できることや、一度書き込まれた内容がすぐに広まってしまうこと、そのため被害が急速に広まってしまうこと、削除が難しい場合もあることなどから、重大なダメージを引き起こす場合があります。



たとえ悪意がなくても、本人の許可なく住所や電話番号、メールアドレスなどを公開する、他人を誹謗中傷するような情報を掲載する、事件や事故などの関係者のプライベートな情報を公開するといった行為は人権侵害につながります。画面の向こうには「人」がいることを認識し、差別的な表現は書き込まない、本人の了解なしに個人情報は掲載しないなど、個人の尊厳やプライバシーを尊重する感覚を持つことが必要です。

その他のさまざまな人権

これまでに取り上げた人権問題のほかにもさまざまな人権問題があります。例えば、ハンセン病やエイズなどの感染症に関する人権、ホームレスの人に関する人権、犯罪被害者とその家族に関する人権、刑を終えて出所した人に関する人権、アイヌの人に関する人権、性的マイノリティ（少数者）に関する人権、震災によって避難してきた人に関する人権などの問題が存在しています。今後さらに社会が複雑・多様化し、また人々の人権意識の高揚により、今まで見過ごされていたような人権問題が生じることも考えられます。いろいろな違いを認め合い、お互いを個人として尊重し、共生していける社会を築いていかなければなりません。

まだまだ、たくさんの人権問題がありますね。



終わりに

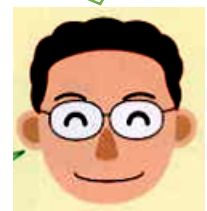
21世紀は「人権の世紀」と呼ばれています。これは20世紀の2度に渡る世界大戦を経験し「平和のないところに人権は存在し得ない」、「人権のないところに平和は存在し得ない」という大きな教訓を得たことからきています。人権の尊重が平和の基礎であることが世界の共通認識となって、さまざまな取り組みが行われてきました。しかしながら、従来の人権問題が解決しない状況で、新たな人権問題も発生しています。真の「人権の世紀」を築いていくためには、一人ひとりが人権を尊重することの重要性を正しく理解するとともに、相手の気持ちを考え、思いやりの心を持って行動し、自分の権利と同じように他人の権利も認め合っていくことが大切です。



最後まで読んでいただき、ありがとうございます。
小郡が差別のない、明るいまちになるといいですね。

差別って、すべて人がつくったものなんだから、人によってなくすることが出来るよね。

一人ひとりが自分らしく生きていくためには、相手を思いやる気持ちが大切ですね。身近なところから学んで、人権が尊重されるまちをつくらう。



人はみな自分らしく生き生きと
幸せに暮らしたいと願っています。
お互いが多様な個性を尊重しあい、
ともに生きる社会の実現をめざし、
正しく学び、手をつなぎ、
住んでよかったと思える
「人権のまち おごおり」を
みんなで作っていきましょう！

発行
小郡市教育委員会 人権・同和教育課
TEL 72-2111 内線532